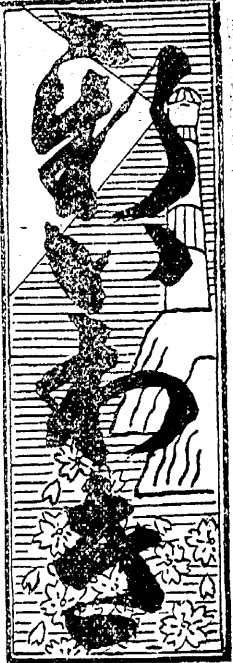


刊夕 日十月二十



休日... 郵税十五錢... 廣告料... 發行所... 平野新聞社

平驛の貨物収入

十二月も増収か

昨日迄に平年より一四圓増
漸く見えて来た暮氣分

平驛に於ける貨物方面は既して量に於ては磐城炭礦報の如く去十一月の収入に平發電所々用の粉炭到着と不況の中に珍らしい黒字同所から炭礦に逆送する炭を見せたが引續いて年迫る幾が減少した關係で着發共を昨今謂ふ末氣分で漸次頻りに減じてはるるが収入にあ繁なる荷動きを呈し鹽引やりは本年の千七百七十九白葉の到着から果物類では圓は昨年當りまでの千六百蜜柑の荷が貨物ホームを六十五圓に比し百十四圓を賑はして来た今十二月に這增加してゐる現在の狀況で入つての取扱高は昨九日までは殊に昨年なかつた鐵屑の總計到着に於て二千八移送が多いので當十二月収百一十トシ、昨年同月三千八百八移送が七八百圓の増百一十トシ、發送八百五十九取でないかと。

景氣は炭礦から

警報は廿萬圓の利

眞の炭山景氣は明春頃から

今期の入山は自重的決算

石城地方の各炭礦は景氣好れ居るも今下半年に於て約轉の曙光を見る各種工業の四十萬トシの出炭に上る磐城四百里の募集に着手する筈復活と各期の需要増を重ぬ炭礦の如き既に二十萬圓で送炭増加で漸次活況を呈する利益確實と予想され入山してゐるが其の爲めの好影探炭では不況時代の人員陶瘳は打續く不景氣に相當の汰が警報ほどに行はれな疲勞があり大口物の前約につた關係で三十三の塊炭拘束される大炭礦よりも小率である警報に比し四十炭礦に意想外の利を占めらる塊炭率を有しながら今期左記の如く合計十萬六千九

四國西國の

神詣團體

平驛出發で
明春四百

平驛では景氣好轉と見る來春早々鐵道主催で四國九州方面の神詣團體を計畫し明年二月十七日同驛出發（時間未定）三月二日歸着十四日間を恰度舊正月二十三日から二月七日に至る地方の休日には撰み出發の列車は一路岡山の後縣園に向つて關西方面の神社佛閣を悉く廻り四國引の汽車賃が十圓四十五錢それに宿泊料九圓四十五錢それに宿泊料其の他が四十一圓三十三圓合計六十圓七十八圓を以て四百名の募集に着手する筈であるが予定の悪景が困難でない見込みであると、

常識講座

オペレーションは爲替買賣等の運用を實用することと云へば思惑的シヨンの云へば思惑的機動的の勝落勝敗を主眼とする取引で利鞘を賣り券を買ひ其の利鞘を賣り券かうなどがそれだ

飯野村の

農産品評

は前年同期、
今十日から三日
間同村小學校で

植田山田の

農産品評

である。
百六十一點の優良
者に十二日褒賞式

石城郡飯野村では小學校の併記念十周年を以て今十日から十二日まで三日間同村小學校に農産品評會を併催し各郡を通じて非常な盛況を呈して生徒成績品の展覽會を開催した農産物の出品三二五、双葉四一八六七今日出張審査を行ひ六七三〇八相馬一一二日午後一時優良者の褒賞式〇二一八八〇〇括弧内興をなすと。

平驛に据付られる

電気仕掛 轉轍機

取付に着手して本月中竣工
地方に新しい物の

東京鐵道局が管の二、三末頃と云はれてゐるが輕いケ驛に於て使用を試みてゐるエネッチで自由になる同轉電氣轉轍機の成績に確信を得たので平驛にも個別的の据付をなすべしとの比較でなく東北としては新から着し、あるが場所はしい設備の一ツであるが作構内東部方面の本線二ヶ所及び機關庫線の、所部は從員に氣遣はれる一ツ合三ヶ所での竣工は本年であらうと語られてゐる様

俳句

筆を

十寸笈

下

行く年や壁に恥たる覺書
其角宗匠の座右銘だと云ふ
があれの事をあつた様
な句だあれもこれもと思つ
た事一つだつて成つてやし
敬足先生と一處に輕薄も申
ねへ馬鹿々々しくも思はれ
るよ
輕薄を申しつゝける
歳暮か那
牧童先生中々うまい事を云
つてのせしかし今から申つ
くして仕舞つては大三十日
の分がなくなると大變だ
つゝがなく大つごもりの
寝酒か那
浪化宗匠は先づ机から片付
け給へ拙者は神棚でも

平町 泥棒

助川で逮捕

昨九日引ら
目下取調中
平驛前の伊達屋旅館に去る
を遊興費消しゐると。

大聖印刷機

財界の不況時に創刊いし
たる不景氣中に營を續けて居り
す本社は大抵苦勞ではありませぬ
が御後援各位の御鞭撻によりまし
て基礎づけられて参りますことは益々
讀者各位の御理解ある御同情の賜であ
りまして誠に感銘に堪えませぬ
就ては豫て計畫
中でありました
購入致しましたので此の取付その他工
場設備を改めませぬ爲めに年末は例年
より早く終刊させて戴きます
昭和七年十二月

新刊

前文社告の通り御申譯致して居りましたが本
を以つて本年の終刊と致しませぬ年末迄に工場を
整へ新年號から改めて皆様に御面見を致します

燈の花

燈の花に春待つ庵かな
鬼貫さんあんたの庵は形つ
いたか小庵は斯の通りと一
のあんまりはどこへいたの
んさなものだナア
申年の終りに猿の顔の赤
書きのめした筆納め來ん
西年には「あけつこう」な
もの出來ませぬまじが垣根
下の笹のチツツと計り
書くつもりお眼永の御愛讀
をと羽根つくろひして願
ひいたします。

越ゆる年の關

明治生命

磐城代理

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

お醤油は……ヤマフル



鹽屋

山崎合名會社

福島縣平田町

山崎與三郎

電話一〇二七番

佛蘭西料理

レストラン サロン

平町田町 電 352

平町

入院應需

藤沼醫院

電話五〇七番

紺屋町

列陳着祝三五七

子供服
オールド
帽子
シヨール
流行シヨール
綿毛メリヤス
其の他
特價賣出し

12月6日

12月10日

ヤルツ

〇 昭一 電 西 平

難波醫院
内科 醫學博士 難波 睦
一般 醫學博士 難波 睦
平町大町新川端
(電話五〇二番)

石綿セメント製
朝日
経済的
ゆげな
くさうな
実質の心配がない

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
院長 醫學士 高久忠
平町田町、電五二三番

牛も豚も優良品 自慢
平町字 三三三 肉の御
田町 三三三 屋 用命

城警 共濟病院案内
院長 醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫學博士 石山謙郎
外科 醫學博士 佐久間粹
喉科 醫學博士 桂重次
皮膚科 醫學博士 有馬勇二郎
産婦人科 醫學士 五十嵐雄一
佐久間 粹
X光線科 醫學博士 石山謙郎
衛生試驗所 醫學博士 石山謙郎
技師 高後利雄
藥局 藥劑士 吉本幸平
◎診察時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限り 非常

磐城共濟會
電話六四一

移轉のお知らせ
從來の館では手狭であり尚ほ新館建築の計畫もありますので左記に移轉いたしました。
美術専門 齋藤寫眞館
人像專門 齋藤寫眞館
元公會堂池の端 平町字大町五
電話(呼六二七)

良い寫眞！
新しい技術
寫眞館 サクラ
平町田町驛前邊

食堂設備
室内裝飾
御用命直ちに専屬の技術員を差遣し破格的大勉強でお調べ致します
丸はん家具店
平町丁目三三五九番

(食堂の一部)

ランチ四品付 五十錢、五品付定食 壹圓
西洋料理 ボタニ

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平町南町
(電二五八番)